

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより 校訓「やさしく かしく たくましく」



元気・笑顔・成長！南小

Ver 3.0

第5号 令和7年5月29日発行 発行者 校長 田口広治

児童数 167

PTA数 124

全校集会 自他を大切にします！



■5月20日（火）の全校集会で、「いじめ、みちゃった」という絵本を基に、いじめについて考えました。次のような話です。

相良南小HP↑

あれって、いじめかな？ あの子、悪口、言われている。たたかれたり、つつかれたり。遊びにもいれてもらってない。

ぼくはちょっとこわかったけど、「どうしてそんなことするの？」ときいてみた。「これはぼくらの遊びだよ。この子がのんびりやだから、たまに遊んであげてるだけ」・・・本当かな？「ぼくはだいじょうぶ」ってあの子は言ってる。・・・本当かな？

あの子、最近ひとりぼっち。

でも、みんな、何もしない。ぼくも、何もできてない。あの子に声をかけたら、ぼくも悪口言われちゃうかな。それはこわいな。

ここで、「いじめは、いじめている人、いじめられている人、見ている人・まわりの人がいます。どうすればいじめはなくなるか、近くの人と話し合ってください」と投げかけました。

各学年、よく話し合いをしています。発表では、たくさんの挙手がありました。

「見ている人が、だめだよと言ったらいい」「いじめられている人が、先生に相談したらいい」「見ている人が、先生に相談するといい」といった意見を発表してくれました。

■話の続きです。

ぼくは学校で見たことをお兄ちゃんに話してみた。「ふむ・・・それはいじめだね。ぼくも前にまきこまれたことがあるよ」お兄ちゃんが言った。

「だれかに何かをされて、つらい子がいたら、それはいじめだよ」お兄ちゃんは教えてくれた。「どんな理由があっても、いじめられていい人は一人もないんだ」

どんな理由があってもだれであっても、いじめられていい人はいないんだ。ぼくも、あの子も、みんな！

その後、「ぼく」が、いじめている人に話をして、いじめをやめさせていきました。

■いじめがあった時には「誰かに相談すること」を、子供たちに話しています。

と同時に「周りの人」の行動がとても大切です。他の人のことを気にかける、困っている人に声をかける、さらにいじめをなくす行動が必要です。心優しい南小をぜひみんなでつくっていききたいと思います。



引き渡し訓練 静かに行動できました！

■5月22日（木）の引き渡し訓練では大変お世話になりました。

掃除の後に、帰りの準備から体育館集合まで、とても素速く静かに行動することができました。体育館でも静かに話を聞き、迎えを待つことができました。

緊急時に行動する時には、慌てず落ち着いて、かつ素速く行動する必要があります。事前に学級でも指導があっていましたが、子供たちの動きに感心しました。

担当の西先生からは、「本当の大雨の時には、下校してから川や用水路などに近づかない」との話がありました。とても大切なことです。

各ご家庭でも、大雨の時の備えや安全についての話をされてください。

■引き渡し訓練は、ここ数年、引き渡し方法などを修正してきましたが、今回はスムーズに実施することができたように思います。もし、改善点などがあればご連絡いただければ、さらに検討していきたいと思います。実際の大雨を想定した動きができるように、備えをしていきたいと考えています。



3年お茶摘み いい体験ができました！

■5月20日（火）に、3年生が川辺地区の川上さんの茶畑で、お茶摘み体験を行いました。3年生では、総合的な学習の時間に「相良村のじまん」という学習を進めていきます。その第1回目の体験学習として行いました。川上さんから「一芯二葉」で摘むことを教えていただき、お茶摘みを始めました。広い茶畑をぐるっと1周しながら摘んでいきました。最初は、どれを摘んだらいいんだろうと戸惑う子供もいましたが、だんだん慣れていき、どんどん摘むことができました。

お茶摘みの後は、冷たいお茶やお茶の葉のてんぷらをいただきました。子供たちは「おいしい」と言いながら、笑顔でいただけていました。

川上さんの話では、「お茶の生産量は、相良村が熊本県1位です」「相良村が、日本で一番古くからお茶の栽培を始めました」といった内容もあり、子供たちは驚いていました。

今後各学年で「相良ふるさと学習」を行い、相良村のよさを体感していきたいと思っています。

